



医用データ共有システム ITKarte

ユーザー導入事例

十島村役場 様



十島村役場様 TEL: 099-222-2101
〒892-0822 鹿児島市泉町14番15号

●鹿児島県の離島地域における医療環境

鹿児島県は、30弱の有人離島を持つ全国でも有数の離島県であり、南北600kmという広大な県域には、不便な交通事情により、容易に医療機関を利用できない地域も抱えています。

そのなかで十島村様は、屋久島と奄美大島の間に点在し、トカラ列島と呼ばれ、北から口之島、中之島、平島、諏訪瀬島、悪石島、小宝島、宝島の有人7島と、臥蛇島、小臥蛇島、小島、上ノ根島、横当島の無人5島の合わせて12の島々で構成されています。

南北約160kmに及ぶ「南北に長い村」であり、島々は、広大な海によって隔絶され、厳しい自然環境にありました。しかし、平成22年4月に国の地域ICT利活用推進事業の一環として、高速インターネット通信網が開通しました。整備されたIT環境を利用して、往診で鹿児島市と島内の診療所を移動する医師と、看護師、協力医療機関の専門医が、双方で同じカルテを閲覧するような感覚で医用データ(検査データ・画像など)を共有しながら医療相談をおこなえるITKarte(アイティーカルテ)を共通プラットフォームとして御採用戴きました。

●十島村様 島内の診療環境

口之島、中之島、平島、諏訪瀬島、悪石島、小宝島、宝島の有人7島に診療所がおかれており、鹿児島市内の協力医療機関から往診医が定期的に各島の回診を行っておりますが常駐する医師はおりません。

各島の診療所では回診の為、医師不在の場合もあり、通常は看護師が対応にあたっております。

救急の場合は往診している医師へ携帯電話などで連絡し、状況の説明を行う際も、携帯の不鮮明な画像や記録と口答での相談で指示を仰ぐしかありませんでした。

また、携帯電話という一般回線を用いての医療相談についても個人情報等のセキュリティ面が課題となっておりました。往診医が勤務先に戻ったあとも、電子メール等に画像添付して確認するなど限られた情報量と、ウイルス感染等による情報漏洩のリスクが存在しておりました。

●ITKarteを利用した情報共有

インターネットを利用して暗号化通信で安全に医用データを共有できるITKarteでは、医師不在の際もITKarte上に最新の画像や検査データを登録することにより、インターネット環境があれば、医師が往診先や勤務先に戻った場合など、どこからでも情報を確認して看護師へ指示が出せます。

これにより、医師不在の場合でも看護師が診療所外の医師や専門医などへ鮮明な画像や検査などの医用データを用いて相談を行うことができるようになりました。また、救急搬送の際にも鹿児島市内の2次、3次医療機関との情報共有が事前に行うことができ、回復期から在宅に戻った際も経過を登録しておくことでフォローアップが行うことができるようになりました。その他、島外で受けた検査結果(DICOM-CD)等を患者に紐付けて登録しておくことで、患者情報の補完情報として確認することができます。



●その他の導入実績

- H17年度事業「地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム」
大学病院内内科・歯科23の医局と中核病院3施設の専門医と、ドラマDrコート診療所のモデルになったことで有名な、下甑島手打診療所を始め、種子島、屋久島、奄美大島、与論島など7ヶ所の離島医療機関で、ITKarteを地域医療連携ツールとして活用。
- H18年度事業「離島へき地医療を支える総合小児科医養成プログラム」
鹿児島大学病院 小児科医局と、各地域の中核医療機関小児専門医が、離島へき地での小児一次救急医療を担当する現場の小児参画医とITKarteを利用して、双方向・多角的に結ぶ情報ネットワークでの支援を行っている。
- H22年度 鹿児島大学病院地域連携室で地域連携ツールとしてITKarteを採用

★医用データ共有システム ITKarte(アイティーカルテ) <http://itkarte.jp/>

★離島へき地医療教育支援室ホームページ <http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~gp/>